

反射マルチで高まる カンキツの抗酸化活性

カンキツ類には、生活習慣病を予防したり、体調を調節する機能があるとされています。レモンとハッサクに反射マルチを敷くと、果皮の抗酸化活性が高まります。

- 7月から収穫期までの期間、樹冠の下に反射マルチを敷くと、レモンとハッサクの果皮の抗酸化活性が高まります。
- 果肉の抗酸化活性は、マルチ処理によってほとんど変化しません。
- 果実形質は、ハッサクの果実糖度が約1度高まる以外は、大きな変化はありません。



※反射マルチとは？

地表面に光の反射率が高い資材を敷いて、カンキツ樹がより多くの光を受けて果実の品質を高めるための栽培技術です。

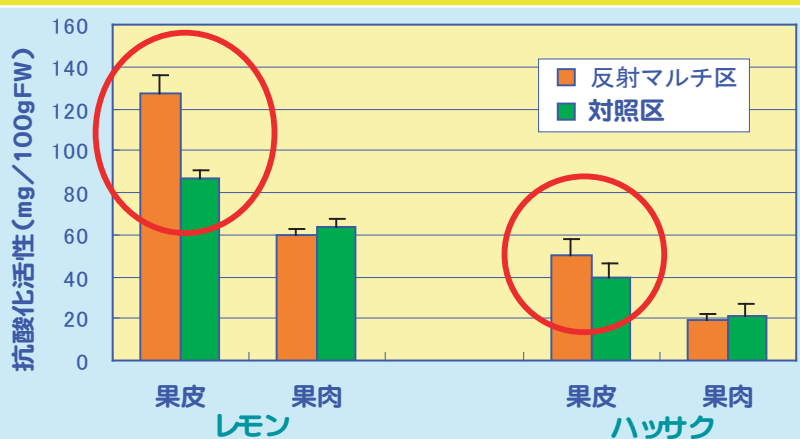


図1 反射マルチがレモン及びハッサクの抗酸化活性に及ぼす影響 (2004/1/7収穫,分析)

※抗酸化活性とは？

呼吸とともに体内に取り込まれた酸素のうち、一部は活性酸素となって、動脈硬化やガンの原因になると考えられています。

抗酸化活性は、体内での過剰な酸化反応を抑制してくれる機能です。